

プロバスだより

平成 21 年 6 月 12 日

東京八王子プロバスクラブ

目 次

号 No	発行年月日	主な記事	卓 話・投 稿
101号	2004. 4. 8		下田/落語・大道芸＝口上商人の真髄を探求 小原/短歌・日常茶飯の事々
102号	5.13		浅川/光のはなし
103号	6.10	野外サロン	八木/春の草花(他人の空似)
104号	7. 8	総会、親睦旅行	
105号	8. 5	臨時総会	
106号	9. 9		西志村/卓話 八木/標高 4000m 幻の青い芥子と世界遺産を尋ねて
107号	10.14		石井/卓話 橋本/タイ 30 年の時を噛みしめながら思う
108号	11.11		鶴田/卓話 長町/生老病死－実録「未熟児物語」
109号	12. 9	野外研修	
110号	2005. 1.13	記念準備委員会報告	小原/卓話、
111号	2.10		荒/天にあるバランスシート
112号	3.10		矢崎/卓話 大高/私の宝物
113号	4.14		吉田/ランニングを楽しむ 矢崎/東京農工大学工学部付属 繊維博物館
114号	5.12		近田/「パウチ」と「パウチ」 小棚/生きる
115号	6. 9	野外サロン	池田/「とまとのつぶやき」－絵手紙で小さなボランティア 平/稲盛和夫の「生き方」を読んで
116号	7.14	総会	濱野/プロバスケット 10 周年を迎えて
117号	8. 4		大高「この一年を振り返って」 大野(幸)「我が家のアイドル“ピーちゃん”」
118号	9. 8	10 周年記念事業	阿部/卓話 矢島/白き神々の座にあこがれて 大串/お弁当
119号	10.10	10 周年記念事業	平/卓話
120号	11.10	10 周年記念事業実施要綱	阿部(和)「書芸術の先端を走る破体」
121号	12. 8	10 周年記念事業実施結果報告	東山/「建設業の特色について(特に法規制)」
特集号	12. 8	陸上自衛隊東部方面音楽隊演奏会、記念式典とレセプション	
122号	2006. 1.12		特集「内外交流レポート」
123号	2. 9		長谷川/「コップの中の小さな星」
124号	3. 9		長谷川/卓話
125号	4.13		澤渡/投稿
126号	5.11		杉山/自分の身は自分で守る 石井/第 10 回プロバス生涯学習サロン
127号	6. 8	野外サロン	立川/私とモンゴル
128号	7.13	総会	
129号	8.10		石田/戦前の旧植民地での技術者教育
130号	9.14	新会員紹介	宮崎/わが町の祭り
131号	10.12	同好会	多村/最近思うこと
132号	11. 9	新入会員紹介、追悼文	小林/卓話 市川/儚く過ぎし日々
133号	12.14	新入会員紹介、野外研修報告	長谷川/シルクロードをバイクで走る
134号	2007. 1.11	「私のお宝見せます」大会	
135号	2. 8		阿部/卓話 山本/マラソンされどマラソン
136号	3. 8	新春座談会	石田/卓話、

目 次

137号	4.26		米林/卓話 川村/古希を迎えて
138号	5.10	新入会員紹介	多村/卓話 土居/知識がないと情報が生きない
139号	6.14		澤渡/卓話 戸田/私のお稲荷様
140号	7.12	第11回定期総会	佐々木/第三のふるさと一八王子
141号	8.9	新年度運営方針 東京日本橋プロバスケット訪問記	宮城/仲間とともに
142号	9.13	新入会員紹介	佐々木/卓話 澤渡/第7回「歴史を肴に語ろう会」報告
143号	10.11		武田/卓話
144号	11.8		渋谷/卓話 有泉/私の趣味 高瀬/37年振りのボルネオ
145号	12.13	野外研修報告	増田/忘れられていくものたち
146号	2008.1.10	新入会員紹介	立川/卓話 澤渡/第9回「歴史を肴に語ろう会」報告
147号	2.14		新春特別講談 河津琴道氏 新年宴会 趣味と私/高取和郎
148号	3.13		浅川/卓話 阿部(幸)随想 八木/高尾の山野草
149号	4.10		松尾/卓話「ボスはいるの？」 長谷川/南米「旅の終わりに」にみたものは
150号	5.8	新入会員紹介	荒/卓話「歴史よもやま話—四神はペット？」 ドイツ・ケムニッツ・オーケストラとの交流演奏会/立川
151号	6.12	野外サロン	下山/雑感プロバス塵劫記 竹内/生涯学習サロンに参加して
152号	7.10	第12回定期総会	
153号	8.14	臨時総会 六ヶ所村訪問記	
154号	9.11	三内丸山遺跡・縄文最大の集落 訪問/荒正勝	山元/卓話「歩く、5街道」 平原/「54の野ばらの歌」
155号	10.9		土井/卓話「マルコポーロの東方見聞録」
156号	11.13		外ノ池和彌氏/卓話「裁判員制度について」 立川/ケムニッツオーケストラ滞在日記
157号	12.11	新入会員紹介 写真で見る野外研修の一日	大野(聖)/卓話「お台場の歴史」 橋本/卓話「青函連絡船の歴史」 廣瀬/「人権擁護委員の活動について」
158号	2009.1.8	臨時総会	高取/「ジェネリック医薬品について」
159号	2.12	特別講習「応急救護」	
160号	3.12	歴史の会特別講演記録「甲州街道と八王子横山15宿・千人町」	竹内/卓話「リスクマネジメント:お金で買えない経験」
161号	4.09	生涯学習サロンスタート	宮城/卓話「体の手入れ」 古川/「庭の狸ちゃん」
162号	5.14		東山/卓話「日常生活と契約」
163号	6.11	野外サロン	野末/「駅周辺」 多村/「警察・消防・救急活動について思う」

目 次

[illegible]

2003～2004 年度のテーマ「－喜びを分かち合おう・支えあえる仲間になろう－」

◎第101回定例会報告（司会 田中例会委員長）

日 時：平成16年3月11日（木）12時30分～1時30分

場 所：エルシー

出席者：45名（出席率72%）

来賓等：八王子南ロータリークラブ 加賀谷恵会長、広瀬武彦幹事

1 会長挨拶

お元気にお集まりありがとうございます。東京八王子南ロータリークラブ 加賀谷会長、広瀬幹事には来賓としていつもかかさずご出席下さりありがとうございます。

先ほど情報委員長からプロバスだより100号記念号をいただきました。その最後のページに第1号の復刻判がのっていますが、それをととても感慨深く見ました。この中で鬼籍に入った人がもう6名もいらっしゃいます。とても悲しいことです。やはり、私たちの年代のクラブの特色かと思ったりもします。どうぞ皆様には健康にはくれぐれも気をつけていただきたいと思います。

先々週、学習サロンが始まりました。市長もお見えになり賑やかに開講式を行いました。東京緑化推進委員会・矢野好彦緑化推進室室長の特別講話は、皆様にとって大変有意義だったと思います。その続きというか3日ほど前東京の青山会館で「都市と森をつなごう」というテーマで緑化推進機構主催の会があり副幹事、地域奉仕委員長とともに出席しました。今緑を守るといふ機運が国内で強くなっています。地球温暖化による弊害について考えなければいけないということで先月話をしましたが、その続きともいえる話をします。50年先、日本の気象がどうなるか、気象予報士が書いているものを読みました。温暖化で気温が平均5℃上がる、そうなったときに日本での四季はどうなるか。山に雪がなくなり、平野でべたべたの雪が降るようになるそうです。都会でスキーができる、春早く3月半ばにもう花見、だから4月に新入社員が花見の席取りする必要がないだろう、梅雨はびしょびしょでなく、どこどかとスコールのように降る、そして熱射病で亡くなる人が沢山出てくる。そして秋の紅葉は非常に遅くなり、初詣と一緒に紅葉狩りができる、そういう四季の変化になる。そうすると俳句の季語はどうする、衣替えなど日本の昔からのものがいろいろな形で変わっていくのではないかと思います。

時代とともにいろいろ科学的なものが変化してすごいスピードで動いていきます。考えてみると、私たちの年もそうなのかな、もう50過ぎたらすごい勢いで年が過ぎていく。いろいろと考えさせられました。

どうぞ皆様お元気で。この後のサロンをお楽しみ頂きたいと思います。

2 来賓紹介・挨拶

東京八王子南ロータリークラブ 加賀谷会長

温暖化、全世界的に大きな問題で、ベニスでは水位が上がり2階に住んでいるとか、南氷洋の氷が全部溶けたら海面が100メートルあがるとか、国土沈没ということになる。炭酸ガス排出規制の政治的駆け引きとか問題が多い。子孫の為に真剣に考えなければならぬのではないだろうか。

南ロータリークラブの10周年記念の時にプロバスクラブが出来ました。南ロータリークラブの20周年はプロバス10周年の年にあたります。20周年には鈴木丈史次期会長が就任します。次期会長から、差し支えなければ、記念の年の行事で共通にできる部分があれば一緒にやる、あるいはある部分を共用一緒にする、その可能性を探ってきていただきたいと思います。皆様の前で提案させていただきます。プロバスクラブ担当者と話し合って欲しいと思います。

3 幹事報告（下山幹事）

「全日本プロバス協議会2004大阪会議」の議案書が送付されてきた。

5月23日12時開会～

1号議案 全日本プロバス協議会の設立

2号議案 全日本プロバス協議会の会則制定

3号議案 プロバス協議会会則により2004年度世話人を選出、の3議案が提案されている。

会則（案）の内容骨子：目的は全日本のプロバスクラブの親睦、協議会の世話人は会長、副会長、幹事長、若干の幹事を置く。世話人は総会で選出する。総会は1ないし2年に1回行う。（メールを利用する可能性もある）。事務局は幹事長の属するクラブに置く。

この会議には、当クラブからは下山幹事が参加し、3時からの自由フォーラムで八王子プロバスクラブの生涯学習サロンの紹介を行うことを頼まれている。

4 委員会報告

◎会員委員会（中野委員長）

親睦旅行 参加申込書は4月に配布、その場で提出願う。目的地：新潟県の柏崎刈羽原子力発電所（東電）見学。往復バス代などは東電負担。6月16（水）－17（木）日、八王子駅南口「たましん」前7時15分集合、7時半出発。参加40名を目標。参加費用15,000円。会員増強の方もよろしく。

◎情報委員会（武田委員長）

プロバス便り100号記念でカラー、増ページとした。いろいろな形で投稿を期待。HP関連ではプロバス便り1～99号まで全部掲載。生涯学習サロンテーマについても修正してから仕上げ掲載した。追加されるたびにアップしていきたい。

◎地域奉仕委員会（宮崎委員長）

2月26日開講式、本日から4週にわたって生涯学習サロンを実施。ご協力を。

野外サロン（バスで川越見学）の申し込み、数多くの参加を見込んでこの値段になった。プロバス会員全員の参加を期待している。

◎例会委員会（田中委員長）

本日の例会62名中45名出席、72%。連絡なし欠席5名。欠席の場合は事前に連絡を。

3月25日 サロン第2週（14時から）で13時30分にはご集合。

4月8日の例会はサロン第3週があるので12時開会。

◎研修委員会

特にないので報告無し。

5 その他

○お茶の会（矢崎会員）

お誘いを配布。正会員の他に新規に準会員を設ける。恥をかかない程度の基礎知識をとということで気軽に参加して欲しい。定例会：毎月第2火曜日10時からと決めた。

6 プロバスソング斉唱

7 閉会（大高副会長）

食糧の自給率は40%であるが、先だつての特別講話で材木の自給率が18%というのには驚いた次第です。秋田では昔は製材工場が駅の近くにあつて、盛んだったがいまはもうない。経済や社会状況が変わり、生活の急激な変化が起きていることを実感しています。南ロータリークラブ加賀谷会長からご提案のありました記念事業の共用の件、当クラブの10周年記念行事については秋頃から着手したいと考えており、その際はよろしくご協力をお願いいたします。以上で閉会といたします。

☆第8回生涯学習サロン開講

いよいよ、今月11日からサロン講座が始まり、各回とも120名を越す参加者が、それぞれのテーマに取り組んでいました。どのクラスも予定の2時間をオーバーするほど熱のこもった勉強会でした。

第1回 3月11日（木）14:00～16:20

A 題名	続・美術あれこれ裏話	岩岡茂之
B 題名	平成16年を占うー音訓占い	大野聖二
C 題名	幕末を戦った多摩人	野口正久
D 題名	カナダの豊かな自然	矢崎安弘

第2回 3月25日（木）14:00～16:20

A 題名	童謡・唱歌の世界	五十嵐淳
B 題名	痴呆ーその理解と対応	石田雅巳
C 題名	お金と私たちの暮らし	佐々木研吾
D 題名	楽しいガーデニング	西久保哲夫

4月は次のサロンが予定されています。

第3回 4月8日（木）14:00～16:10

A 題名	井戸端会議（野球談義）	宮崎 浩平
B 題名	懐かしの映画とその音楽	立川富美代
C 題名	椿の話	土井 俊玄
D 題名	患者接遇改善の遍歴	長町 幸雄

第4回 4月22日（木）14:00～16:10

A 題名	マメの話	橋本 鋼二
B 題名	ウィーン物語ー映画と音楽による	平原 俊彦
C 題名	クーデンホーフ光子の生涯	堀口 進
D 題名	日野原先生の「生き方上手」に学ぶ	近藤 泰雲

◎投稿

落語・大道芸＝口上商人の真髄を探究

下田 泰造

私が落語をよく聴くようになったのは、小学校4年生の頃だったと思います。並四のラジオから流れる演芸番組を毎日楽しみに聴いていました。ラジオから流れる落語の中で、自分の好きな噺家のネタは一度聴いただけで、あらましを、覚えてしまい学校でその物真似をよくやりました。

この頃は演芸場で落語を聞く事も、教えてもらう事もありませんでしたので上下（かみしも）の基本もへったくりもなく、ただ覚えている事を噺しただけですが、聴く方だって同様に知らないのですから結構うけました。

中学生になった頃、どうしても高座を聴きたくて、お金の掛からないラジオの公開番組を申し込んで、よく聴きに行きました。会社に入ってから落語熱は益々上がり、同好の士と落研を結成して寮祭やメーデー前夜祭等で、よく頼まれてやっていました。

この様な事で、多くの人達と知り合いになり仕事の上でも大変プラスになりました。又、寄席やホール落語にせっせと足を運び、昭和の大名人のうち、志ん生、円生、文楽等の全盛期の噺を生で聞いた事は、今私の自慢の一つです。各師匠の落語全集を紐解いて読んでみると、十八番のネタを師匠連があたかも喋っている様になり高座の表情、仕草、そして噺の情景が鮮明に浮かんできます。

よく一般の方が、落語全集を読んでもあまり面白くない、なんて言いますが私はそんな事はありません。聴き込んだ人だけが持つこの超能力？は、無形の宝物と自画自賛しております。

他方、大道芸に興味を持ったのも小学校の頃で、10月の中旬、大横町にありました大善寺でお十夜祭があり、丸木（今のエルシー）の交差点のところから浅川橋のあたりまで、16号の両側にずらりと露店商が並び

大善寺の境内にはサーカスや見せ物小屋が掛かり、ものすごい賑わいでした。

その様な中を胸をわくわくさせながら、香具師の口上を目を丸くして聴いていた、ませた小僧でした。

テープレコーダーやビデオカメラが、今の様に手軽に入手出来る時代でしたら、きっと当時の貴重な啖呵売の映像などを残す事が出来たのにと残念ではありません。今の露店商は色々な規制があり焼ソバやタコ焼等の、おとなしい商売の方ばかりで、大道芸の参考にはなりません。当時お十夜で見た、物産あめ売、バナナの叩き売り、包丁の実演販売、大道易者、ハブの葉売等、思い出せばきりが無い程の露店商が店を並べ、まさに聞いていて買わないと損だと思わせる巧みな話術で人を引き付け、二重にも三重にも人垣が出来る程でした。

この様に実際の物を見て来た体験が、今、仲間と大道芸の練習をしている時に大変役立っております。

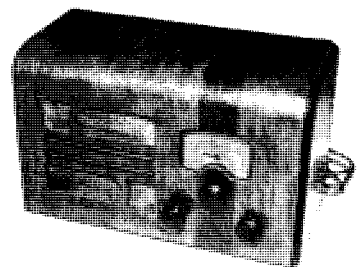
先日例会で配布されました「プロバスだより第100号」に、第1号の復刻版があり、例会の内容が記載されておりました。その中にありました大道芸披露という項目が目にとまり、ハッと致しました。エルシーでは何度か大道芸を披露させていただいておりますが、もしかしてこの日も私が出演していたかもしれないと思い、家で当時の記録を調べて見ましたところ、残念ながら詳しい内容は残っておりませんでした。が、「11月9日小杉会館出演」と書いてありましたので、間違いなく出演していたと思います。

今、プロバスの会員になり皆様方と親しくお付き合いさせていただいておりますのも、この頃からご縁があったのかと思いますと、何か複雑な気持ちが致します。これからもよき時代の消え去りつつある香具師の啖呵売の口上や雰囲気や次の世代に引き継いで行く為に頑張っていきたいと思っております。

（編集者注）

- 1.「プロバスだより第1号」復刻版が意外なところで、お役に立ったことは発行者としてうれしいですね。
- 2.「並四」

真空管式のラジオで、昔真空管が3極管しかない時代の高級4球受信機が、技術革新でベントード（5極管）ができると、並みの球（3極管）を4本使った受信機という事になり、「並四」と呼ばれるようになりました。昭和7～8年頃に出始めました。下田さんが小学生の頃は、既に5極管になっていますが、それでも回路方式が同じため「並四（新並）」と言っていました。一般名称は国策型受信機といいます。写真はナショナル国民受信機



3. 観池山往生院 大善寺

大善寺は、天正13年八王子城主北条氏照の命により自身の菩提寺として讃誉牛秀上人を開山として滝山城下に創建されました。のちに、八王子城下に移転。さらに八王子城の火災、落城で大横町に移転し、それより約350年間に渡り昭和36年移転するまでの間、「大横町の大善寺」として親しまれて参りました。江戸時代には徳川家康公をはじめ、幕府の保護により御朱印（領地）を賜り又、八王子総奉行、大久保長安や代官、竹本権太夫等の援護により発展し、浄土宗の関東十八壇林（僧侶養成の場、学問所）の一つとして僧侶のみならず政財界に幾多の人材を輩出致しました。明治に入ってから、明治天皇より勅願所を賜り明治天皇の御祈願所となりました。

特に、第三代住職で在ります呑龍(どんりゅう)上人は、当時の国の禁をも犯してまでも、恵まれない子供達を育成し「子育て呑龍」として全国で親しまれております。



又、記憶に新しいのは大横町時代に「八王子のお十夜」として賑わい親しまれておりました「大善寺十夜大法会」です。露店や見世物、サーカス等で賑わい関東三大十夜として近郷近在の方々に親しまれてまいりました。

現在の場所は、昭和36年八王子市の要請により永く親しまれた大横町より新たにこの地「大谷」を求め、大和田に一時本堂を移した後、昭和56年現在の新本堂が完成致しました。

(大善寺ホームページより引用)

写真は最後のお十夜のにぎわい
(「ふるさと八王子」八王子市より)

「お十夜」とは、正式には十日十夜の念仏法要のことで、略して「十夜」或いは「お十夜」という。無量寿經や阿弥陀鼓音声陀羅尼經によると、阿弥陀仏の名号すなわち「南無阿弥陀仏」を受持し誦誦し。十日十夜一心にこれを勤めれば必ず阿弥陀仏が現前し、極楽往生することが出来ると説かれている。鎌倉光明寺は双盤十夜、鴻巣勝願寺は塔婆十夜、八王子大善寺は諷誦文十夜と呼ばれ、これを関東三大十夜といわれてきた。

プロバス歌壇

日常茶飯の事々

小原 康直

低空ヘリの爆音が家圧し来るは巨き墨筆以て穹に為る落書

庭に散る枯葉の影ぞ部屋の壁よぎりつつ下る床掃くなかれ

啓蟄過ぐも狭庭をよぎる虫なかり濃影も伴れて歩めむ日々ぞ

午の路地カーテン閉るも開くもあり家それぞれ異質の時間なれ同時進行

窓ゆはるか多摩川見放く 釣り人を中州に刺さる五寸釘とし

天に向き丘に佇つ地蔵夕焼けの紅雲の裂首にたらしつ

渾身のエネルギー以て紅の円で在ること成し遂げて没日

暮の闇地ゆのぼり来は音もなく古塀染めし紅と交れり

通勤電車に女熟寝すはこれ迄の自分史に直疲れるむ面

現実を直視しやうよ小泉サン自殺三万未遂十倍(過去一年間)

(以上短歌誌「新暦」より転載)

2003～2004 年度のテーマ「－喜びを分かち合おう・支えあえる仲間になろう－」

第102回定例会報告(司会田中例会委員長)

日時 平成16年4月8日(木)12時～1時30分

場所 エルシー八王子

出席者 49名(出席率80%)

来 賓 八王子南ロータリークラブ 加賀谷恵会長、広瀬武彦幹事

東京多摩ロータリークラブ 小西弘純様、村上仲慈様、新倉勇造様、鴻池敬和様、池田寛様、
神谷真一様、小磯利光様、古澤靖雄様

1 会長挨拶

皆様今日は、102回目の例会です、今日は例会始まって以来の多くのお客様を迎えての例会です。

特に今日は多摩ロータリーからプロバスクラブ設立準備に携わる8名の方々がお見えです、遠い所大変有難うございました。食事、例会の後もいろいろと話し合ってくださいと思います。

伺ったところ、6月20日には創立されるようで本当にお目出度うございます。さて、このところ世の中さくら、さくらで今日は花祭り、下の方では沢山のお坊さんが見えてお花祭りをしております、私先日、所用で京都の方へ出向き、行き帰り車中で過ごしましたが、窓の外を見ていると、ところどころピンク、桜色の塊が見え、気が付くと学校なんですね、学校の校庭と桜とは何の関係があるのか?ご存じの方がいたら教えて欲しいと思いますが、そんなことを考えながら昔の国語の読本を思い出しますと「サイタサイタ、サクラガサイタ」で始まり校門の絵があったように思うと、やはり学校と桜は何か意味があるのかなと思います。又、昨年「さくら」と言う歌がヒットしています、森山良子の息子さんが「さくら」と言う歌をヒットさせ、今年は川上なんとかさんという人が「さくら」と言う歌をヒットさせていますが、私たち年代から考えると昔の櫻の歌、滝廉太郎の「花」の方が歌詞もメロディーもすてきだったかな等と考えています。私は前回のサロンでたまたま五十嵐先生の唱歌と童謡のところに居りました、そのときに昔の歌が出て来ました、二宮金次郎と言う歌です。ご存じの方は手を挙げてみてください。サロンの会場で知っていたのは私と大高さんだけでした、年代を考えて見ると昭和8年生まれまでの人は昔の歌を知っているようで、10年になると分からないようです。これは終戦の時に小学生であったか中学生であったかがボーダーラインではないかな等と思います。歌を聞いて、音楽を聴いてわくわくする、心が弾む、昔のことを思い出す、いずれにしても良いことだと思っておりまして、長町先生が大きな声で歌うこと、大きな声で笑うことが健康の源だと証明してくれました。どうぞ皆様お家でも、毎日の生活の中で大きな声で歌って、大きな声で笑って健康でお過ごしいただきたいと思います。この後のサロンでも十分にお楽しみいただきたいと思います。

2 来賓紹介・挨拶

○東京八王子南ロータリークラブ 加賀谷会長

皆さん今日は、任期の三分の二を過ぎてようやく皆勤賞に手が届くところに来ようと思います。

私も会長職に慣れて来たところで任期が切れる、これがロータリーの良いところではないかと思っています。

これが2年となりますと途中の息切れとかいろいろ出てくると思います。今立川会長も言いましたように多摩プロバスクラブも6月20日に設立するようで誠に御目出度うございます。私共も、そこに大野さんが居ますが、設立させたプロバスクラブが多くの人の注目を浴びて非常に自慢出来るクラブに成長しました。

どうぞ多摩クラブさんも自分たちが良くなることを期待し、素晴らしいプロバスクラブになるよう頑張ることを期待しております。私たちも最近はこちらが親か分からなくなりましたが、逆に言うと、我々が子供になってこんなに素晴らしいプロバスクラブが有ることを嬉しく思います。また世界大会にもプロバスとして参加されるようですが会場のどこかで顔を見かけた時は声をかけてくださるようお願いを致します。

○東京多摩ロータリークラブ創立35周年記念事業実行委員会プロバスクラブ設立準備部会 小西弘純会長

皆様今日は、今日こちらに参加させて頂きましたのはこれから東京多摩プロバスクラブと命名されるであろう皆様方と一緒に邪魔させて頂きました、東京八王子プロバスクラブの立川会長、下山幹事、大野様はじめ会員の皆様方には一方ならぬご協力を頂きまして、私たちの創立35周年記念式典にもう一息で発表出来るまで漕ぎ着けることが出来るようになりました。昨日も合同委員会で協議致しまして活動計画の確認まですることが出来まして、今は会計さんと予算の打ち合わせに入っているようでございます、5月18日に設立総会を開催致します。6月20日、日曜日に創立35周年記念事業の発表の場でもって東京多摩プロバスクラブ設立の発表をさせて頂きます、ご来賓には地区のロータリーの皆様とか近隣のロータリーの皆様、市長をはじめ行政関係の方々、各方面の団体の皆様にお越しいただきまして開催をしたいと思っております、東京品川プロバスクラブの方にもご参加頂きたいと思っておりますけれども、是非ともこちらの皆様私たち、お手本とさせて頂きました東京八王子プロバスクラブの会長さん初め皆様方にも是非とも東京多摩プロバスクラブの生まれるところを見て頂きたいと思っております。当日は式典の前に陸上自衛隊東部方面音楽隊の演奏会がございます、それからその次に式典が有りまして祝賀会もございます。是非とも皆様そちらの方までご参加頂ければ光栄に存じますのでよろしくお願いを致します。本日は貴重なお時間を頂きましてご挨拶をさせて頂きました。有り難うございました。



3 幹事報告(下山幹事)

- ・3月28日東海大学病院、講堂で健康作りを行って居る諸団体の発表会があった。
- ・5月16日(日)富士森競技場を中心に諸団体が種々のイベントを行う「市民健康の日」が開催される。正門ゲートにおける受付をプロバスクラブが担当する。各委員長を通じてお願いをしてあるが、皆様のご協力をお願いしたい。なお、当日の弁当は支給されないのご承知ください。

4 委員会報告

◎会員委員会(中野委員長)

本日親睦旅行のご案内を配布した。お申し込みをお願いしたい。
参加費15,000円については6月10日、総会時に徴収します。

◎情報委員会(武田委員長)

プロバスだより投稿欄で大善寺、お十夜など懐かしい言葉を見たのでコメントをつけさせて頂いた。
掲載する記事も皆様の協力で滞らずに進められる事に感謝すると共に、今後もご協力をお願いしたい。
ホームページについては毎月月末に更新をするべく努力している、期待して欲しい。
五周年記念ファイルのホームページ掲載準備を進めている。

◎地域奉仕委員会(宮崎委員長)

本日サロンのさよならパーティーのお知らせを配布した。申し込みはテーブル毎に纏め、会費については4月22日、次回サロンの際納入するようお願いしたい。
野外サロンについては、予定の80人を超える申し込みがあり、ご協力を感謝する。
残りのサロンが成功のうちに終了するために一層のご協力を願いたい。

◎研修委員会(矢崎委員長)

報告事項無し

◎例会委員会(田中委員長)

後刻行われるサロン、担当者はよろしくご協力をお願いしたい。

4月22日第4週のサロンは、14時から16時10分まで、会員は開講30分前に集合願いたい。

次回、5月13日(木)の例会は野外サロンと同時開催になる。集合は、7時40分JR八王子駅南口、多摩信前、8時出発となるので遅れないようお願いしたい。

6月例会は総会となり、午後5時集合、総会後懇親会を予定している。詳細については後日お知らせをする。

5 その他

・ゴルフ同好会 コンペについて、参加者への諸注意事項があった。

6 プロバスソング斉唱

7 閉会(大高副会長)

先月末から芸能人の死亡が伝えられている。いかりや長介さんの告別式の際、長男の挨拶に、いつも親父に、ありがたいの言える人間になれ、ごめんなさいの言える人間、ウソをつく人になるなど言われた。簡単なようでなかなか難しいことで、これが出来れば世界中は平和になっていると思う。

ここで1つ報告があります。前回の例会で下山幹事より報告がありましたが、5月23日大阪で全日本プロバス協議会が発足します。その準備委員会から立川会長に全日本協議会の副会長をプロバス会員・立川富美代個人にお願いしたい旨依頼がありました、詳細については5月23日、下山幹事が参加のうえ判明するがとりあえず立川会長がその職を受けるということをご報告致します。

本日は南ロータリーをはじめ、多摩ロータリーのお客様のご参加を頂きまして有り難うございました。これをもちまして例会を閉じさせていただきます。

☆第8回生涯学習サロン開講

サロンも後半に入り、今回も多くの方が集いました。

第3週 4月8日(木) 14:00~16:10

○A 題名	井戸端会議(野球談議)	宮崎 浩平
○B 題名	懐かしの映画とその音楽(6)グレンミラーの世界	立川富美代
○C 題名	椿の話ーこの麗しき花	土井 俊玄
○D 題名	医学散歩アラカルトー患者接遇改善の遍歴	長町 幸雄

第4週 4月22日(木) 14:00~16:10

○A 題名	マメの話	橋本 鋼二
○B 題名	ウィーン物語ー映画と音楽による	平原 俊彦
○C 題名	クーデンホーフ光子の生涯	堀口 進
○D 題名	日野原先生の「生き方上手」に学ぶ	近藤 泰雲

今後の予定は次の通りです。

野外サロン 5月13日(木)

小江戸川越めぐり

閉講日 5月27日(木)

特別講話 「映像で語る人間讃歌」 多摩アマチュア映像協会会長 西澤 幹夫氏

○第8回『プロバスクラブ』ゴルフコンペ報告(記:永井昌平)

4月15日(木)相武カントリー倶楽部において、八王子南RCの3名を加え、総勢21名で開催された。絶好のゴルフ日和に恵まれ、不慣れなコウライグリーンを克服して好成績が続出した。

優勝:永井昌平氏、準優勝:小林時雄氏、三位:小林貞男氏

79という素晴らしいスコアでベストグロス賞を獲得した小林時雄氏は、仕事を引退してからシングルを目指し、65才でシングルプレイヤーになったという。何事も目標を持って事にあたるのが重要であることを再認識させられた。佐藤拓宋先生(元東工大教授)が「定年後にシングルになる本」を書いたのを思い出した。

次回予定:10月21日(木) 幹事:永井氏、西志村氏



◎投稿 光のはなし

浅川文夫

朝起きると明るくなり、一日が終わると暗くなる、あたりまえのことと誰も思っています。ここで「明るくなるって、なんだろう」と、ちょっと考えてみましょう。それは私たちの目が、光を感じて明るいとは判断するからです。太陽を直接見れば、非常に明るいから、そこから光がきているのはわかります。その光が、まわりの物に当たって、反射した光を見ることによって、世の中が明るくなったと思うのです。厚い雲があって、太陽を見ることが出来なくても、夜より明るいのは、太陽の光が雲にあたって、何回も反射を繰り返して、地表に届くからです。私たちは部屋に大きなガラス窓をつけます。それはガラスが光を透過して部屋を明るくするからです。暗くするには、カーテンなどをつけます。カーテンは光を反射したり、吸収して、透過しないものを使います。このように光は物にあたると、反射、吸収、透過するという性質があります。物に反射した光から、その形や、色を見てそれがなんであるか、見わけています。今度は色ができました。ここで光についてもうちょっと考えてみましょう。光は電磁波の一種といわれています。ひとつの波の長さを、波長とよび、長さの単位メートル(m)で表示します。電磁波の波長が、10ナノメートル(mmの1000分の1がマイクロメートル、その1000分の1がナノメートル)から1mmのものを光といいます。10ナノメートルより短い波長はX線といい、1mmより長い波長は、マイクロ波といい、テレビやラジオの電波になります。私たちの目で見える光は、380~780ナノメートルで、可視光線といい、紫、青、緑、黄、赤、などの色と表示します。紫(380ナノメートル)より短い光を、紫外線といい、赤(780ナノメートル)より長い光を、赤外線と呼んでいます。人間の目は、紫から赤まで全部の光が、一緒になったときは白く見えます(青、緑、赤の3色でも白くなります)。太陽の光は、全波長の光がはいっているの、白く輝いて見えるわけです。しかし、この白色光で照射された、地表の物からの反射光は、紫から赤までいろいろな光に見えます。これは、物によって反射する光の波長が違うということです。それでは、光は波長が変わると、どのような性質があるかみてみましょう。太陽光にあたると暖かい、ということは光はエネルギーを持っているからです。光は波長が短いほどエネルギーが強いといえます。太陽からの光は、200ナノメートルより短い光はほとんど空気によって吸収されます。また酸素は紫外線にあたると、オゾンに変化します。そのオゾンはまた、紫外線を吸収するので、地表にくる光は、300ナノメートルより短い波長はほとんどありません。

紫外線は化学反応をおこす力が強いので、日焼けや、目に害をあたえます。

私たちの周りには今いたる所に、プラスチック製品があふれています。目で見ただけでは、ビニールなのか、ポリエチレン、ペットなのかなどの区別は出来ません。

しかし赤外線で見ると、吸収(反射)する波長がそれぞれ違うので、すぐわかります。私たちが、健康診断で血液検査をして、身体の調子を判断していますが、これらの検査数字は、ほとんど光を使って測定しています。

近年の電気製品は、ほとんどが半導体部品を使ってコントロールされています。これは半導体部品が、どんどん小さくなり、たくさんの仕事が出来ようになったからです。この半導体部品を作るときに、光が重要な役割を負っており、光の波長が、短ければ短いほど、小さいものが作れますので、どこまで短波長の光が使えるか、開発競争が続いています。CD,DVD、などみな光を使った製品です。これから、ますます光の用途広がっていくことでしょう。

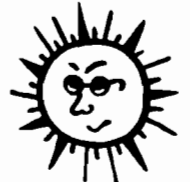
次に光を出すもの(光源)は、どんなものがあるかみてみましょう。物を燃焼させると光を出します。焚き火、油、ロウソク、などいろいろ工夫されてきました。白熱灯は、タングステンに電気を流して、熱くすることによって光を出します。温度を上げれば上げるほど、短い波長が多くなります。

実は物体はどんなものでも、光を出しています。温度の低いときは、赤外線だけで目に見える光はありません。温度を上げてやれば、だんだん波長の短い、可視光から紫外線までだすようになるのです。

この他に、ガスを放電させると、そのガス特有の波長の光を出します。ガスとしては、ネオン、水銀、ナトリウム、キセノン、などがあります。また、紫外線を当てると、その波長より長い波長の光を出すものがあります。この現象を蛍光といいます。よく知られている蛍光灯は、水銀ランプで紫外線をだし、その光を、蛍光物質にあてて、可視光線を出しているのです。最近では、発光ダイオード、レーザー等いろいろな光源が開発されています。

一番大きな光源は、太陽です。太陽の表面では、熱核反応によって、非常に高温になっています。その高温のエネルギーによって、光の全波長にわたって非常に大きなエネルギーを、地球に送ってきています。この世の、あらゆる自然現象、私たちの生きるための、全エネルギーは、太陽の光エネルギーからもたらされているのです。(原子力、地殻熱は除く)

陽の光を浴びて、その大切さ、有難さを、全身で感じて、これからも生きていきたいものです。



2003～2004 年度のテーマ「－喜びを分かち合おう・支えあえる仲間になろう－」

第103回定例会報告(司会田中例会委員長)

日時 平成16年5月13日(木)8時～9時

場所 移動例会(プロバス生涯学習野外サロンと併せ実施のため貸切バス2号車車内)

出席者 41名(出席率66%)

1 会長挨拶

五月晴れに鯉幟がおよぐという景色を殆んど見る事がなくなりました昨今、5月の季語が形だけのよう
な思いがいたします。今月は移動例会、プロバス学習サロンも野外サロンとなり、いつもの例会と違うか
たちになりました。例年になく多くの参加を得まして、バス2台が満員となり、「小江戸川越めぐり」
をしましたが、宮崎地域奉仕委員長、2人の副委員長の本当に緻密な計画に頭が下がりました。雨の天気
予報もはずれて、近い割には深くを知らない川越を堪能いたしました。

担当の皆様にご心からご苦労様を申し上げます。会員も一般参加の皆さんも満足されました。

それにしても川越の”シニアボランティア”の解説のすばらしいこと。懐から分厚い「アンチヨコ」を
出して見せてくれました。私たちのプロバス学習サロンに負けないシニアのご活躍に感服いたしました。
負けてはいられませんね。

5月23日にはプロバスクラブ全日本協議会全国大会に下山幹事が参加、プレゼンテーションをする為
にサロンのビデオを西沢先生に作製頂きました。

全国のプロビアンに八王子の活動をご披露いたしました。感想は後ほど幹事から出ると思います。楽しみ
ですね。皆様にもご覧いただきます。

2003-2004年度もゴール寸前になりました。ご協力頂きましたことを感謝申し上げます。

(本稿、会長1号車乗車のため後日談)

2 副会長挨拶

本日一日の野外サロン、小江戸川越めぐりを一般会員の皆様とともに楽しく過ごしたいと思います。
運営役員の皆様よろしくお願いいたします。

3 幹事報告(下山幹事)

- ・6月10日第104回例会・定期総会 場所はエルシー八王子 17時より。
- ・5月16日(日)富士森競技場を中心に諸団体が種々のイベントを行う「市民健康の日」が開催される。
プロバスの協力メンバー12名、受付係。参加正門ゲートにおける受付を担当する。
- ・5月23日全日本プロバス協議会2004大阪大会開催。
- ・6月20日多摩ロータリークラブ35周年記念式典に4名参加。

4 委員会報告

◎会員委員会(中野委員長)

- ・親睦旅行の件

会員37名参加申し込み。参加費15,000円の集金については6月10日、総会時とする。

当日は保険証の持参が望ましい。

- ・会員動向

退会者：安藤美代子氏

休会者：梅木松助氏

◎情報委員会(武田委員長)

プロバスだより：掲載する記事も皆様の協力で滞らずに進められた事に感謝すると共に、今後ご協力
をお願いしたい。

ホームページについては毎月月末に更新予定。

◎地域奉仕委員会(宮崎委員長代理浅輪副委員長)

生涯学習サロン順調に推移している。参加率も好成績で平均90%台である。

本日の野外サロン、小江戸川越の解説を1号車橋本義和会員、2号車野口正久会員にお願いした。

5月23日閉講式・さよならパーティ、サロンが成功のうちに終了するために一層のご協力を願いたい。

本日のスケジュールについて配付資料により詳細説明。

◎研修委員会

報告事項無し

◎例会委員会(田中委員長)

6月例会は総会となり、エルシー八王子、午後5時集合、総会後懇親会を予定している。詳細については後日お知らせをする。

5 その他

・お茶の会 定例会は第2火曜日だが、今月にかぎり第3火曜日10時から。

☆第8回生涯学習サロン

◎野外サロン 5月13日(木)

「小江戸川越めぐり」

バス2台(1号車:一般会員、2号車:プロバス会員)に分乗し定刻の8時に八王子駅南口を出発。

見学コースは

喜多院(本堂、五百羅漢)→中院→川越城本丸御殿→川越市立博物館→時の鐘→蔵造り資料館→菓子屋横町自由散策

各施設の見学は4班に分かれ、川越市シルバー人材センター会員のガイドの懇切な説明を受けた。

野外サロンのレポートは別途発行される生涯学習サロン小冊子に掲載。



川越城本丸御殿にて記念撮影

◎閉講日 5月27日(木) 14時30分

○閉講式

・開会の辞 宮崎地域奉仕委員長

- ・会長挨拶
- ・来賓挨拶 八王子南ロータリークラブ 加賀谷恵会長
- ・参加者代表挨拶 板垣由利子氏



・閉会の辞 大高副会長

○特別講話 「映像で語る人間讃歌」

八王子アマチュア映像協会会長 西澤 幹夫氏
 (講師) 八王子生まれ(1928年) 八王子市役所勤務、国道の歩行者天国開設
 山野学園参与、八王子市住宅建設協同組合を履歴
 8ミリ映画・東京国際アマチュア映画コンクールに入賞、他数々のコンクールに入賞。
 現在はビデオ撮影の指導に当たっている。

- ・「東京オリンピック・八王子のその時」の制作にまつわる苦労話やエピソードと8ミリの上映
- ・「三都物語」ベネツイア、アムステルダム、ブロージュの2本を上映

○さよならパーティー

司会進行は元アナウンサー秋山邦博会員の名調子でなごやかに楽しいひと時を過ごすことができた。

- ・演奏：アナカラ・ハワイアンズ 岩岡茂之会員他

2ステージ15曲の演奏があり、長町幸雄会員が“カイマナヒラ”のソロ、一般会員の飛び入りのフラダンスなどで盛り上がった。

- ・大道芸：バナナのたたき売り 下田泰造会員

絶妙な口上で会場を笑いの渦に巻き込み、あっという間に山盛りのバナナが売り切れてしまい買い損ねた人々から追加の注文が出るほどだった。ユニセフへの寄付も相当な額になったにちがいない。



最後に会長のリードで全員で「見上げてごらん夜の星を」「今日の日はさよなら」を合唱して、来年の再会を約束し散会となった。



◎投稿 春の草花（他人の空似）

八木 啓 充

先日、城山湖から高尾へ、ハルリンドウやフデリンドウ、コケリンドウなどの観察を楽しみながら歩いていた時のこと、初めナズナの花が咲いているなど余り気にも留めずにいた小さな白い花、どうも違うようだと思いつきました。近寄ってよく見ると、似ているが違う草でした。ロゼット状（葉が地表に着いて放射状に出ている）の葉から茎が立ち上がり白い花が付いています。家に帰ったら図鑑で調べることになりました。身近なところに同じように、似ているが違う草花が多いものです。

よく道端に咲いている雑草でハルジオンとヒメジョオンなどはよく間違えられます。どちらも北アメリカ原産の帰化植物で、よく観察すれば前者は葉の根元が茎を巻くように着き、後者は茎から普通に葉が出ているので見分けることができます。ヒトリシズカとフタリシズカ、トキワハゼとムラサキサギゴケ、キランソウとジュウニヒトエ、カンアオイの葉とシクラメンの葉、ホタルカズラの花とヤマルリソウの花などなど、良く似たものがあります。

3月初め頃南高尾あたりを歩くとシュンランの花を見つけことがあります。春の息吹を感じさせる花です。花のない時期にはシュンランとジャノヒゲとの区別は、見慣れた人には葉の根元の太さ加減ですぐにわかるのですが、なかなか難しいものです。

丁度今頃（4～5月）に咲くイチリンソウとニリンソウは前者が葉の切れ込みが深く群生することは無いが、後者は一面に群生することが多く、葉の切れ込みが浅いので、花が咲いていなくても区別がつきます。白いかわいい釣鐘状の花を吊り下げたナルコユリとホウチャクソウもどちらがどちらだったか迷うものです。花が葉の脇から3～5個田の鳴子のように下がったのがナルコユリで、茎の先端部に1, 2個下がったのがホウチャクソウです。また似たものにチゴユリがありますが、花は茎の先端にやや開きかけた桔梗のような花を1～2個つけます。

ムラサキケマン（黄色のキケマンもある）とヤマエンゴサクもよく似た花です。花のお尻をピンと立てた姿はとても印象的です。両者は葉を見ればすぐに区別できます。エンゴサクの葉はいくつにも分岐したカラマツソウのような小さな葉をつけていますが、ケマンの葉はキクの葉のようで、人里の汚染されたところを好み、生活環境のバロメータとなっているようです。

梅雨の頃、木の茂った暗い道を歩くとギンリョウソウ（白色の花）に出会うことがあります。この花と似たものにナンバンギセル（うす紅色の花）などがあります。丁度キセルを立てたように咲いていて葉がありません。ともに他の植物や腐植のものから栄養を貰っています。

また少し高い山に登りますと、イワウチワの可愛い花に出会うことがあります。この近くでは御岳山の、奥の院の裏斜面と高岩山展望台北斜面に群生していて4月後半には見事な紅色の花をひとつ着けます。これに良く似ているのがイワカガミで、花茎の先端に3～5個の紅色の花をつけます。残念ながらかなり高い山でないと見ることはできません。どちらもそれらの花を見ると、その可憐さは忘れられません。

似たものの多いのにはスミレが一番でしょう。春の野山にはいろいろなスミレが咲きます。

スミレとノジスミレ。スミレの花は横の花びら（側弁）が有毛で葉柄基部が紫褐色ですが、ノジスミレは開花期も早く側弁に毛がなく葉柄基部が緑か淡い紫色です。ヒゴスミレとエイザンスミレもよく似ています。ともに葉は放射状に細かく前者は5裂、後者は3裂です。どこにでも咲いているタチツボスミレも、日当たりのよいところに咲くニオイタチツボスミレも似たものですが、後者はとても良い香りがあり、花も濃紫色で小振りです。花が小さくてすぐに見分けが付くのはツボスミレ（ニョイスミレ）です。高尾で発見されたタカオスミレもヒカゲスミレの一品種ですのでとても似ています。葉の表面が銅色に黒ずんでいるのがタカオスミレ、裏高尾で見かけます。季節に先駆けて咲くのがアオイスミレ、5月の中旬一番遅く咲くのがコミヤマスミレでびわ滝の側の湿った暗い岩に着いて咲いていますのでご覧いただけます。葉や茎に毛が有り、葉が丸いのがケマルバスミレ、葉も長く名前も長いのがナガバノスミレサイシンです。

春の山を図鑑片手に歩くのはとても楽しいものです。ちなみにナズナの花に似た花は、未だ名前を特定できていないのが残念です。



2003～2004 年度のテーマ「－喜びを分かち合おう・支えあえる仲間になろう－」

第104回定例会報告（司会 田中例会委員長）

日時 平成16年6月10日(木)5時～5時40分

場所 エルシー八王子

出席者 54名(出席率88%)

1 会長挨拶

皆様こんばんは、今日はこのあと定期総会が控えております。昨年の7月に会長拝命してから丁度今月で私の年度が終わりこれが最後の挨拶になります。この1年間「喜びを分かち合おう・支えあえる仲間になろう」というテーマを掲げました。皆様方クラブ会員として仲間同士の交流親睦を深めたいことを大きく打ち出したいと思いました。

また新規に奉仕活動、色々な情報発信をして市民権を得る、認知してもらいたいという努力をしてきました。下山幹事をはじめ役員・委員の皆様のご協力を戴きましたことを改めてお礼申し上げます。

会のなかでインフォーマルなサークルも3つになり、親睦を深められたことと思います。

また、情報委員長にお骨折りいただいて、クラブのホームページが出来、大変高い評価を得ています。そして、全日本プロバス協議会に参画し、なおかつ、八王子の地域のなかでの新たな奉仕活動にも取り組みました。最初に掲げた目標に少しずつ進んでいるのではないかと思います。

須藤会員の急逝、また病気になる方が多かったというのも特徴的でした。ハイ・エイジのクラブの宿命とは思いますが、今日は時の記念日、毎日が大切な日々、皆様ご自愛の上、一日一日を大切にお過ごし下さい。

南ロータリークラブ加賀谷会長、廣瀬幹事、来年度会長の柴田先生がお忙しい中をお越し下さいました。

加賀谷会長、廣瀬幹事におかれましては例会に毎回御出席いただき、ありがたく感謝しております。

ロータリークラブとはお互いの親子の関係と云うより、自立したクラブでありながら、スポンサークラブとして南ロータリークラブと密接な関係を保つというあり方が良いのではと思っております。

次期会長にこのクラブがますます発展し、会員が元気で活躍できるクラブになりますことを祈念し、最後のご挨拶に代えさせていただきます。

2 来賓ご紹介

東京八王子南ロータリークラブ 加賀谷恵会長、廣瀬武彦幹事、柴田穰一次期会長

3 幹事報告(下山幹事)

- ・5月23日全日本プロバス協議会2004大阪大会（大阪弥生会館）に参加。

全国87団体中28団体が参加。

決定事項（式次第・議案は別途、ホームページに掲載）

①設立宣言

②会則制定

③2004年度世話人選定 副会長として当クラブの立川富美代会員を選出

④会費 1,000円/年

アトラクションのあと、フォーラム開催、テーマとして「プロバスクラブの奉仕活動」。

当クラブの「生涯学習サロン」活動について下山がプロモーションビデオを併用し発表した。

また、当クラブに対し、関東地区の代表幹事クラブとして要請があった。

- ・第8回生涯学習サロンのプロモーションビデオを紹介し、映写。

4 委員会報告

◎会員委員会(中野委員長)

親睦旅行の件

6月16～17日、柏崎刈羽原子力発電所見学 会員34名参加。お礼申し上げる。

本件企画に関し小林会員の協力を頂いた事に感謝したい。

◎情報委員会(武田委員長)

プロバスだよりの発行は来月迄担当する。

生涯学習サロンテーマ冊子の編集にかかる(7月発行予定)。また、サロンの後援関係部門へは冊子完成次第、実施報告書とともに提出する。

ホームページ更新済みなので、ご覧頂きたい。

◎地域奉仕委員会(宮崎委員長)

生涯学習サロン、無事終了した。皆様の全面的なご協力に感謝する。9回、10回・・・と継続することを念願する。

◎研修委員会(矢崎委員長)

野外研修、卓話等、会員皆さんのご協力に感謝する。

◎例会委員会(田中委員長)

次回例会は7月8日、12時30分エルシー八王子にて。

新年度会費18,000円+積立金2,000円の納入を御願います。

8月は第1木曜日、5日になるので、日程注意のこと。

なお、7～9月はノーネクタイ、軽装でよい。

5 プロバスソング斉唱

6 閉会(大高副会長)

本年度例会も今日で最後になりました。南ロータリークラブの加賀谷会長、廣瀬幹事におかれましては毎回御出席頂き、本当に有り難うございました。各委員会の活動も活発におこなわれ、それぞれ目指した成果が得られ、1年間ご苦労様でした。

引き続き総会がありますので、よろしくお願いしたい。

第8回定期総会報告(司会 下山幹事)

日時 平成16年6月10日(木) 5時50分～6時30分(例会に引き続き)

場所 エルシー八王子



開会に先立ち、故須藤英雄会員を哀悼し、黙祷を捧げた。

1 開会 司会者より出席会員54名、現在会員数61名と報告があり、総会成立を告げる。

2 議長選出 司会者発議により立川富美代会長を議長に選出

議長により書記並びに議事録署名人の指名があり、承認された。

書記 浅川文夫会員
議事録署名人 堀口進会員

3 議事

(1) 第1号議案 事業報告(2003年～2004年度) (下山幹事)

会員移動について、年度当初会員数63名、入会2名、退会3名、物故1名で、現在会員は61名である。
なお、休会中の会員は4名である。

本年度は「喜びを分かち合おう・支えあえる仲間になろう」をキャッチフレーズに運営の目標を定めた。

①仲間意識をより高めるためのクラブ活動

②対外的な活動の展開

③10周年にむけての準備

具体的な活動は別途配布の「事業報告」によるが、主な活動を総括してみたい。

今年度も各委員会それぞれが精力的に活動し結果を出してきた。

- ・例会委員会では例会の企画を充実することを目指し、配席、食事等の手配に意を用い会話が弾む楽しい例会で会員相互交流を深めるよう努めた。資料トレイの整理、集金、サロン受付などの実務を滞りなくやる一方新年宴会などを企画し親睦を図った。
- ・情報委員会ではプロバス便りの毎月発行はもちろん、その紙面や折込みチラシに工夫し、同好会の活動、会員の動向などの情報提供を増やした。学習サロンではパブリシティーを担い、また後援名義の取得などで募集に貢献した。特筆すべきは我がクラブのホームページの開設である。委員長始め委員会諸兄の努力は賞賛さるべきであり、友好プロバスクラブからの賛辞を頂戴した。またもちろんサロンの記録作成をも担当した。
- ・会員委員会では、会員名簿の新版作成、会員増強の取り組み、会員親睦の一泊旅行(柏崎)を計画し間もなく実施される、などを取り組んだ。もちろんサロンでも受付、集金などを担当し協力した。
- ・研修委員会では野外研修の計画実施、金沢文庫・横浜などを見学した。その実施直前に須藤委員長の急逝がありながら、副委員長ほか委員の支えで滞りなく行われた。須藤氏には他界同日付けで正5位並びに勲5等雙光旭日章が授与された、哀悼の意を深くする。また同好会活動の支援、卓話者の準備、サポート、サロンの充実のため司会や記録を主に担当した。親睦旅行も分担している。
- ・地域奉仕委員会は学習サロンの計画実施の元締めであり、例年以上の参加者中の出席率を得た開催となった。サロンの報告は冊子によるので省くがプログラムの魅力が増した企画であったと思える。他にもいちよう祭りでは初のイベント・歴史を描く児童の絵画展への協力を司った。

主な活動だけを取り上げてこの通りであって、各委員会の活動は例年通りという言葉では済まされないほどのものがあったと言える。

クラブとしては全日本プロバス協議会へ加盟、八王子市民健康づくり協議会へ加盟およびイベントに協力、八王子ボランティアネットワーク主催の記念講演会(国境なき医師団代表講演)協賛、東京緑化シンポジウム参加、全日本プロバス協議会2004大阪大会への列席および活動報告、学習サロンへの市長来駕依頼、など対外活動を活発にした。

南ロータリークラブ会長の例会来駕に表れているように10周年に向けてロータリーとの共同歩調の環境が出来た。また例会に多摩ロータリーからの2回にわたる見学参加、川崎西ロータリーからの見学があった。

八王子市地域に、またプロバスクラブ間で八王子プロバスのprestigeは高まったと思える。それゆえ立川氏に全国協議会副会長就任要請(受託)、八王子プロバスに関東地区幹事担当の要請(引継ぎ事項)があったのであろう。

これらのことを総括するとホームページをはじめ対外活動はきわめて積極的で成功裡に進んだと言える。対内活動も野外研修、例会、親睦旅行など順調だったと言えるが、対外活動に比較するとまだ出来る事があったかも知れない。またクラブ全体として会員の増強にいま少し力を入れるべきだったであろうか。

以上の報告につき議長はこれを諮り、満場一致で承認された。

(2) 第2号議案 役員選出(議長 立川会長)

議長から大高秀夫会員を会長に推薦する旨提案があり、満場一致で承認された。

大高会員より別紙の通り、役員人事案の提案があり、満場の一致をもって承認、選出された。

理事 大高秀夫、大野聖二、小林貞夫、山下安雄、吉田信夫、佐々木研吾、矢崎安弘、山崎修司、永井 昌平

会計監査 野末孝雄、古川純香

(3) その他

会計報告については、事業年度が6月末までであるので、次回例会(臨時総会)にて報告する。

以上で、議事が終了したので、議長解任となった。

4 旧役員退任挨拶（代表 立川富美代会長）

旧全役員を紹介し、この1年間ご協力・ご支援を頂き無事に終わりましたことを、代表して、皆様にお礼致します。有り難うございました。

5 新年度役員紹介及び会長挨拶並びに会長委嘱人事について

来年度理事分掌について、大高次期会長より紹介があり、皆様のご支援ご協力に進めたいと挨拶があった。

（会長）大高秀夫、（副会長）大野聖二、（幹事）吉田信夫、（副幹事）永井昌平、（例会委員長）山崎修司、（情報委員長）矢崎安弘、（会員委員長）山下安雄、（研修委員長）小林貞夫、（地域奉仕委員長）佐々木研吾、（会計監査）野末孝雄、古川純香
また、次の委嘱人事があった。

全日本プロバス協議会副会長（地区担当役員）立川富美代、事務局長 岡田尚、IT担当（ホームページ） 武田洋一郎



▲新年度役員紹介

6 来賓祝辞 東京八王子南ロータリークラブ 加賀谷恵会長



次期会長 柴田穰一氏の紹介をします。

全日本プロバス協議会、立川副会長就任おめでとうございます。また関東の要所である八王子で東の幹事クラブとなるとの事。非常に名誉なことだと思う。ますます努力されご発展願いたい。八王子プロバスクラブならではの生涯学習サロン、既に市民に認知されており、継続を期待しています。

この1年間、温かく迎えていただき本当に良かったなと感じております。そしてゴルフ他、様々な機会に交流を深める事が出来たことに感謝いたします。

7 閉会 （下山幹事）

懇親会

司会が徳永会員にバトンタッチされ、にぎやかに交歓・懇談が行われた。

1.来賓ご挨拶 柴田穰一次期南RC会長



次期会長の柴田でございます。3階のエレベータを降りた途端、熱気
のあふれる雰囲気、このようなパワフルな会だったのかと実感しま
した。発足当初しばらく関わったのち、その後離れていましたので、
話には聴いておりましたが、皆様のご努力で素晴らしい会となり整然
として内容の濃いレベルの高い会になったと思います。私どもの会（
RC）よりこちらの方が上かなとも思いました。「喜びを分かち合お
う・支えあえる仲間になろう」はとてもよいテーマで、仲の良い楽し
い会の運営が出来るなと思いました。今後ともよろしく願いいたし
ます。

2.乾杯（立川会長）

【案内】

アナカラハワイアンズ（岩岡会員所属）

エルシー八王子にて、7月・毎日曜日、8月・第2/3/4日曜日午後6時より出演するので、是非お越
し頂きたい。

【親睦旅行】

東京電力・柏崎刈羽原子力発電所の見学を兼ねた一泊親睦旅行
平成16年6月16日（水）～17日（木）

（矢崎安弘 記）

この旅行は小林貞夫会員の紹介により企画され、中野会員委員長と大山副委員長が東電八王子支社と折
衝を重ね実現に至った。旅行は、プロバス会員33名と東電八王子支社から鈴木、三枝の両氏の随行を加
え、総勢35名が参加した。16日、17日両日とも、梅雨の真っ只中にもかかわらず、快晴に恵まれた。

第一日目のコース：

- 7時20分 定刻10分前に、JR八王子駅南口出発
- 8時20分 日の出ICより圏央道に入り、鶴ヶ島JCから関越道に入り高坂SAに向かう。その間、中野委
員長の司会による朝の挨拶、立川会長の挨拶の後、東電から、スケジュール、見学の趣旨、
原子力発電の現状、自然エネルギーの利用開発、オール電化住宅、エコキュートなどに関す
る説明があった。更にビデオ上映があった。
- 9時00分 高坂SAを出発し次の休憩場所、赤城高原SAに向かう。
- 10時05分 赤城高原SAで小休止の後、小出ICへ向かう。途中、日本で最長のトンネル、関越トンネル
を通ったが、トンネル内の照明の電力は、地元の北陸電力と東京電力の二社で供給してい
るとの説明があり興味を引いた。
- 11時00分 小出ICを下り、インター下りた所にあるレストラン「かたくり」で昼食。
- 12時00分 再び小出ICから関越道にのり長岡JCから北陸自動車道に入り西山ICに向かう。
- 12時38分 西山ICを下り、柏崎刈羽原発に向かう。
- 13時00分 まずBWR（Boiling Water Reactor）運転訓練センターに到着。センター長による施設の
説明を受けた後、見学をした。ここは九電力とハードウェアメーカー2社で共同運営して
いる施設であった。次に東京電力サービス・ホールに移動し、ここのスタッフによる説明
を受けながら、原子力発電所内をバスで一周した。現在、広大な敷地内に、7基の原子炉
が稼動中。テロに対する厳重なセキュリティーのため、施設内の見学が禁止されており、
通常なら、原子炉の上に直接立って記念撮影など出来たのに、残念。その後、サービス・
ホール内で原子力発電の原理、原子炉の構造、タービン・発電機、放射性物質、安全確保
の仕組み、等に関し、分かりやすいかつ懇切丁寧な説明があった。最後にハイビジョン・
シアターで3Dの迫力ある映像を見せていただいた。
- 15時40分 東電サービス・ホールをお暇し、柏崎市内にある今夜の宿「ザ・ホテル・シーポート」に向
かう。
- 16時20分 ホテル到着。
- 18時00分 大広間で大宴会。宴会終了後はカラオケルームで二次会。

第二日目のコース：

- 7時30分 ホテル2階のレストランで朝食。朝食後、ホテルに隣接する「お魚センター」でお土産を買ったり、今では大変有名になった「恋人岬」に行く。ホテルから徒歩10分ほどで、無数の鍵が鐘やフェンスに結び付けてあり壮観であった。
- 10時30分 ホテルを出発。数分で米山ICから北陸道にのる。長岡IC経由で関越道に入り湯沢ICに向かう。
- 11時45分 湯沢ICから下りて、すぐ傍にあるレストラン「味里」で昼食。再び湯沢ICから関越道に入り、休憩地「高坂SA」に向かう。
- 14時00分 小休止後、高坂SAを出発し圏央道日の出IC経由、八王子に向かう。
- 15時20分 JR八王子南口着。解散。



◀原子力発電所風景
中央は排気筒

【排気筒】

原子炉建屋内などの換気をした空気を、フィルターを通して外に出す設備

【集 合 写 真】 ▼



第105回例会および臨時総会

日時：平成16年7月8日（木）午後12時30分より

場所：八王子エルシー3階

出席者：49名（出席率90％）（会員総数58名中4名が休会中）

1. 例会開始に先立ち、山崎例会委員長より配布資料の確認があった。

- (1) 例会議事
- (2) 2003年度決算報告書
- (3) 第8回生涯学習サロン会計報告
- (4) 2004年度運営方針
- (5) 2004年度委員会組織表
- (6) 2004年度予算案
- (7) プロバスだより
- (8) 第9回生涯学習サロンについてのアンケート
- (9) 八王子歳時記
- (10) 東京八王子プロバスクラブ設立経過
- (11) プロバスクラブ一覧（日本地域）

2. 会長挨拶

会食終了後、大高新会長の挨拶があり、以下について述べられた。

- (1)今年度のモットーを『支え合おう・感謝の心で “ありがとう”』とする。

人間は、例えば、米を作る人、運ぶ人、など、陰で働く人たちの恩恵を受け生きていることにかんがみ、「支え合おう」、そして支えてもらった感謝のお返しをするには「感謝の心」を込めて「ありがとう」という精神であると解説された。

- (2)また、今年度から例会においてパスト会長を一人ずつ紹介する時間を設けることにし、本日より実行する

- (3)本日、臨時総会を略式で開催する

3. 臨時総会

山崎例会委員長が司会を続行し議事に移った。

- (1) 前年度決算報告（下山幹事）と監査報告（石田会計監査）

収入¥3,822,188 予算対比増減 +238,357

支出¥3,822,188 予算対比増減 +238,357

10周年積み立て勘定 ¥1,096,000

（増減+¥12,000）

資産合計 ¥1,462,008

第8回生涯学習サロン 収入／支出¥1,980,313

(2) 新年度運営方針（大高会長）

- a) 来年の10周年記念事業に向けて、実行委員会を年内に立ち上げて、企画立案活動を開始する。
- b) 各委員会が支え合って横の連携を十分に図る
- c) 对外活動の維持・継続：全日本プロバス協議会（立川富美代会員が副会長）ホームページの継続と充実（武田前情報委員長が特命で担当）、地域の行事・イベントへの参加・協力（いちょう祭りなど）

(3) 新年度予算案の説明と承認（吉田幹事）

収入の部 ￥3,582,008

主な費目:会費¥2,088,000（58名x36,000）

支出の部 ￥3,582,008

主な費目:例会費¥936,000

特別例会費¥1,170,000

生涯学習サロン補助¥400,000

10周年積立金勘定 期末残高予算 ￥1,328,000

4. 通常の例会に戻る

1) 来賓挨拶：東京八王子南ロータリークラブ 副幹事 山元哲夫様

本年度は柴田会長ですが、テーマは『生めよ、増やせよ、子ども生め』です。これからの子供に夢を与え、若い世代に対し一年間奉仕活動を行うのでご協力をいただきます。

2) パスト会長紹介

大野聖二初代会長がプロバスクラブの設立にかかわったのは平成7年1月で、同年10月には設立総会があった。当時の状況を逸話を交えて詳細な説明があった。平成8年には生涯学習事業が計画され、平成9年2月に生涯学習サロンが開催された。（詳細な設立経過が時系列で示されているペーパーが配布された）

3) 幹事報告（吉田幹事）

基本的に会長の示された運営方針（ペーパーあり）を支えるのが幹事の仕事。その為には先ず、楽しい会の雰囲気作り、次にマンネリ化を防ぎたい。確認事項3点:①委員会組織表で所属の確認 ②各委員会の 懇親会を7月28日までにを行う③会員動向:会員総数58名、退会者3名（橋本義和、大山泰、向山光春）、休会者4名（梅木松吉 来年の5月31日まで。川津鉄禮 本年7月から9月まで3ヶ月間。秋山邦博来年の5月まで。加藤寛 本年7月と8月）。

4) 委員会報告

例会委員会（山崎委員長）:楽しく交流できる例会にしたい。ご意見を。

情報委員会（矢崎委員長）:ホームページの維持管理は武田前委員長が専任。プロバス便りの例会報告など、少々簡略化したい。

プロバス便りへの投稿を強く促したい。題は自由、字数制限なし。長いものは次号へ。また連載也大歓迎。

会員委員会（山下委員長）：会員が減少しているので、会員の増強と退会を少なくしたい。具体的方策は理事会とも相談の上8月か9月発表したい。会員名簿の改定・発行をする。

研修委員会（小林委員長）：卓話は8月、9月、10月、12月、2月と年間で5回実施する。卓話者は、会員番号40番以降で約半分の会員が話されてないのでお願いしたい。野外研修は11月の例会日に実施するが、目的地については、過去8年間で八王子周辺は行き尽くしている。とはいっても又行ってもいい所もあるのではとも思うので、広く検討する。サークル活動は現在、3つつ。囲碁、お茶、ゴルフ。これ以外の趣味を持っておられる人も多いかと思われるので、今年度は更に3サークルを作ること为目标にしたい。

地域奉仕委員会（佐々木委員長）：生涯学習サロンについては、会員から徹底的にヒアリングを行い運営していきたい。本年度は第9回で、来年の10周年に繋げる内容で行いたい。その意味でアンケートにご協力をいただきたい。話し手は自分自身が原則だが、他の会員を推薦でも良い。また地域にボランティアで適材がいれば、推薦いただきたい。講座の内容については、歴史、保健医療、音楽、映画、美術、など、継続的な人気番組がある。同時に新しいものに対する要望もある。野外サロンについては研修委員会と重複しないよう調整して行いたい。目的地として都心のウォーターフロント（お台場、品川など）、新設の美術館などの声も上がっている。いちょう祭り等の地域協力も引き続きやっていく。

5) その他

- (A) 鶴田前副幹事から、1年間貯めたユニセフ募金¥8,000を、日本ユニセフ協会に振り込んだと報告があった。
- (B) 吉田幹事から、8月28日（土）に富士森陸上競技場で開催される、『大江戸舞祭り』のお知らせがあった。
- (C) お茶の会は八月はお休みとのアナウンスがあった。
- (D) 中野前会員委員長から、入会するときの会員資格について一部誤解があったが、旧会員委員会には説明されたが、全会員に説明する件は、何時行われるのかとの質問があった。大高会長より、山下新委員長の下、会員委員会で検討し、その結果を更に理事会で検討し、会則に在る条文の解釈に、ある一定の方向性を出し、7月か8月には全会員向けに発表する旨の回答があった。

- (E) ゴルフ同好会の小林会員からのお知らせ。4月に開催した第8回コンペの際、次回は10月11日(木)に行うことにしたが、場所は、今日、岩岡会員にお願いして『相模湖カントリー』に決定した。参加6組を予定。
- (F) 囲碁同好会：吉田会員から、今年も一泊囲碁大会を企画中とのお知らせ。日取りは10月28日(木)～29日(金)、場所は去年と同じ『陣谷温泉』。
- (G) さる6月16日(水)と17日(木)に、東京電力・柏崎刈羽原子力発電所見学を兼ねた、一泊親睦旅行が行われたが、その会計報告書、記念集合写真、並びに返金¥2,000が、中野前会員委員長より、旅行参加者に配布された。

6) 各委員会の打ち合わせがテーブルごとに行われ、その後プロバスソングの斉唱を挟んで、大野副会長の閉会の辞をもって例会は終了した。

5.同好会からのお知らせ

- 1) お茶の会： 8月はお休みします。9月から通常通り第2火曜日。
- 2) 囲碁の会： 秋の一泊囲碁大会
期日 10月28日(木)～29日(金)
場所 陣場の湯『陣谷温泉』
参加費 ¥15,000(一泊4食、対局室使用料)
申し込み 矢崎(Tel・Fax: 64-2671)
飛び入り大歓迎
詳細は後刻通知します

- 3) ゴルフの会 第9回ゴルフコンペ開催のお知らせ
秋のプロバスクラブ・ゴルフコンペの開催が、下記の日程で決まりましたので、お知らせいたします。
(1) 開催日 平成16年10月21日(木)
(2) 場所 相模湖カントリークラブ
(3) 予定人員 6組(24名の予定)
尚、詳細は、別途ご案内します。

6.新しいコラム開設のお知らせ

『私の宝物』

新企画として、上記コラムを、出来れば来月(9月)から、開設します。有形・無形、どんな形の宝物でも結構です。真面目に書いてよし、あるいは 気軽にユーモラスな表現で書いて頂くもよし。字数制限をしません。勿論、写真を添えていただいても結構です。奮っての御投稿をお待ちしています。

情報委員会